

神奈川県特命子ども地域アクター養成アクション
第5回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時：平成24年7月8日 13時半～15時半

場所：県立青少年センター

出席者	NPO 法人ミニシティ・プラス	理事長	三輪律江
	NPO 法人ミニシティ・プラス	副理事長	岩室晶子
	NPO 法人ミニシティ・プラス	理事	中聡美
	NPO 法人ミニシティ・プラス	会員	杉山昇太
	NPO 法人ミニシティ・プラス	会員	松田香
	神奈川県	県民局青少年部青少年課	中野篤子
	神奈川県	県民局青少年部青少年課	鈴木かおり
	リスト株式会社	CS 企画部 次長	松本紀明
	NPO 法人	教育支援協会 事務運営部	田中靖子

<報告・承認事項>

1. いろは講座・お見合い会の報告 資料 **報告事項（資料1）**

三輪によって説明がなされた。

（1）まちづくりいろは講座について

- ・初回、最終回はほぼ全員出席。その他の回についても7割が出席。欠席者はビデオ受講ができるようになっている。
- ・講座全体についてのアンケートも実施。エクステンションからの応募者とアクターの両方に配布し、回収しているところである。回収結果は、最終の報告書などに含める予定

（2）お見合い会について

- ・お見合い会、交流会ともに参加団体から良い反応があった

<協議・承認事項>

1. まちづくり団体への派遣の承認 資料 **特命子ども地域アクター受け入れ団体リスト**

（1）派遣団体について

岩室によって説明がなされた。

24日のお見合い会において、本事業の趣旨と異なるプレゼンテーションを行った団体について審議し、今回はこの団体への特命子ども地域アクターの派遣は行わないことを決定した。

→派遣先団体を選考し、17団体に確定

（2）子どもの派遣先の承認について

資料 **特命子ども地域アクター受け入れ団体リスト** **スケジュール表**

アクター個人別希望表 **特命子ども地域アクター振り返りシート**

- ・事前に岩室が子どもと連絡をとり、希望を聞いて派遣先案を考えている。そのため、希望先

を提出しただけ、という子どもはいない。意見などをすり合わせているという前提の共有

- ・岩室より各団体ごとの説明
- ・(現在のスケジュール表だと空欄が多いが) 確定している日程のみ、スケジュール表に記載している。事前ミーティングなどの日程は子どもの予定に合わせる場所が多いので、これから増えていく。
- ・スタッフは、1回目の派遣は必ず付き添う。
- ・子どもの派遣先の行動は、「振り返りシート」にて把握。毎派遣時に書いてもらい、派遣先の人にサインをもらう。当日の活動を振り返るとともに、その日のメインの活動を把握する。
- ・一日中ではなく、午前の最初や、帰りなど区切りのところでスタッフに付き添ってもらうような形もある。また、事前会議とイベント当日の付き添いは、できれば同じ人が行くのが望ましい。
- ・派遣の付添には、市大の学生も参加する。その際、スタッフマッチングを行い、興味のあるところに行ってもらおうことを考えている。
- ・(個人別希望表の) No.2 の子は、団体 17.18 とともにカッコ書きで入っているが、両方入ることになるのかということについては、希望を聞いて検討する。
- ・他の子がほとんど第 1、2 で通っている中、No.8 の子は、第 4、5 希望だが大丈夫 かとということについては、日程や、受け入れ先が中高生を対象にしているところなど、理由がはっきりしている。
 - 子どもの派遣先を承認
 - とくに秋の子どもの派遣先について、再調整が必要になる旨を承認

2. 今後のスケジュールの確認

資料 特命子ども地域アクター養成アクション 7月以降のスケジュール

- 9月30日(日) 大人・子ども合同会議 (17時~19時) 於 県民活動サポートセンター
- 11月11日(日) 子どもを中心にフォーラムの準備 (10時~16時) 於 県立青少年センター
- 11月25日(日) 推進会議 (10時~12時)、子どもフォーラムリハーサル (13時~15時)
於 県立青少年センター
- 12月1日(日) フォーラム準備 (時間未定)
- 12月2日(日) 第1回子ども地域社会参画促進フォーラム (10時~17時)
於 県立青少年センター
- 1月13日(日) 推進会議 (10時~12時)、子ども会議 (13時~15時)
- 3月17日(日) 大人・子ども合同会議(10時~12時)

3. 7月20日の協働推進課の中間報告での報告内容について

- ・新しい公共を協働で進めていくうえで、報告会で忌憚のない提案をさせていただく。具体的内容に関しては事前に推進会議メンバーには見てもらう。
- ・新しく始めた事業のため、意見をだして改善していくことは望ましい

以上。(文責 松田)